



「學」の意味は？

本年度は、「学び合いの文化づくり」が学校の重点努力目標です。そのため、「学び合いで大切なことは何か?」「授業での具体的な姿は?」など、機会あるごとに子どもたちに話をしています。

そこで、2学期の始業式では、「学」という漢字の成り立ちについて説明しました。現在は「学」と表記しています。しかし、昔はもっと複雑で「學」と書いていました。

そこには、下に示したような成り立ちがあります。保護者や地域の方々、教師など周りの大人に見守られ、支えられながら、学問や芸術、文化などとしっかり交わる。先生や仲間と一緒に考え、話し合い、協働しながら活動する。正に、授業の中で子どもたちに求める姿そのものです。

特に大切にしたいことは仲間との交わりです。友達の意見に真剣に耳を傾ける。そして、不明な点や疑問を抱いた点について質問したり、納得した点にはうなずいたりする。また、自分の考えについても進んで友達に話し、反応を求める。このように友達の意見と自分の考えを比べながら聴き、話し合うことで理解が深まります。新しい考えが生まれます。「学ぶ」とは、仲間とかかわりながら考えをふかめていくことなのです。そのことで、コミュニケーションの力も高まり、協働的に活動する姿勢も育まれます。

受け身の姿勢で、教えられたことを覚えていくだけではなく、自ら積極的にかかわり、友達と学び合い高まっていく子どもたちに育てて欲しいと思います。

尚、この話を聞いた6年生の感想をいくつか紹介します（裏面）。



二つの「メ」は交わりを表しています。上部の「メ」は祖先の霊との交わり、すなわち学問や芸術や文化との交わりを意味します。下部の「メ」は仲間との交わりを意味します。



建物の意味を表す冠の下に中心に「子」を配して構成されています。



漢字の上部の両脇は、子どもの交わりをケアし、導いている大人の両手を意味しています。

○校長先生のお話では、「学」の漢字について学びました。昔の「學」の漢字は、大人の手や建物、交わるという意味が含まれていることが分かりました。「学」というのは学ぶだけではなく、大人や友達とかかわり合うことなので、意見を出し合う時はいろんな人の意見を聞いて、その意見に付け加えたいです。

○今日の始業式では、「学（學）」の意味についてのお話がありました。それを聞いて思ったことは、家で勉強する時は、ただ一人で教科書を見たり、読んだりして頑張っていたけれど、わからない問題があったら、大人の人にも遠慮せずに、聞いていいんだなと思いました。

○今日、校長先生の話で心に残ったことは、学ぶの「学」の字が今と昔とではちがうということです。昔の學の字には、上の部分の一つ一つに大切な意味が込められていました。校長先生の話聞いて、最初に思ったことは「漢字ってすごいな」ということです。こんな意味が込められていて、学ぶってみんな（大人の人や地域みんな）が協力してくれて学べるんだなあと改めて思いました。